



2021年1月19日

各 位

会 社 名 株式会社くろがね工作所  
代表者名 代表取締役社長 神足 尚孝  
(コード：7997、東証第2部)  
問合せ先 取締役経営管理本部長 森 吉武  
(TEL. 06-6538-1010)

### 特別損失の発生及び通期業績予想と実績の差異に関するお知らせ

当社は、2020年11月期（2019年12月1日～2020年11月30日）において、下記のとおり特別損失を計上いたしました。また、2020年10月15日に公表いたしました2020年11月期の連結通期業績予想および個別通期業績予想と実績に下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。

#### 1. 特別損失の発生

2020年10月15日に公表いたしました『特別損失の発生及び通期業績予想の修正に関するお知らせ』にてお知らせしましたとおり、当社では、ポストコロナの時代を見据えたモバイルワークの実践と情報・コミュニケーションのハブとなるセンターオフィス及びモバイルワーカーのコワーキングスペースとしてのサテライトオフィスという新しいワークスタイルの在り方に対し、当社の企業理念である「人と環境にやさしい空間創造」を体現するに相応しい働き方を実践する場（東京、大阪の5拠点）を実現するべく、営業拠点の再配置を行うと同時に、それに伴う本社及び東京営業所の一部賃借スペースを2020年11月末日に返却しました。その返却に伴う原状回復工事費用、固定資産除却損等による特別損失として34百万円が発生する見込みとしておりましたが、返却に伴い当該賃借スペースにて使用していましたリース資産の使用縮減による追加的な損失が発生したこと等により、2020年11月期において特別損失として固定資産除却損23,971千円、事務所移転費用26,642千円を計上しております。

また、当社が保有する投資有価証券について、「金融商品に関する会計基準」に基づき評価した結果、下記のとおり減損処理による投資有価証券評価損を計上しております。

#### 記

#### 2020年11月期第4四半期連結会計期間における投資有価証券評価損

	連 結
2020年11月期第4四半期連結会計期間（2020年9月1日から2020年11月30日まで）の投資有価証券評価損の総額（A－B）	154,014千円
(A) 2020年11月期（2019年12月1日から2020年11月30日まで）の投資有価証券評価損の総額	189,429千円
(B) 2020年11月期第3四半期連結累計期間（2019年12月1日から2020年8月31日まで）の投資有価証券評価損の総額	35,414千円

※四半期における有価証券の評価方法は、洗替え法を採用しております。

## 2. 通期業績予想数値と実績の差異

### (1) 連結業績

単位：百万円

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり連結当期純利益
前回発表予想 (A)	9,340	24	14	△70	△41円09銭
実績値 (B)	8,217	△243	△252	△508	△298円44銭
増減額 (B-A)	△1,123	△267	△266	△438	
増減率 (%)	△12.0	—	—	—	
(参考) 前期連結実績 (2019年11月期)	9,550	△225	△238	△284	△167円19銭

### (2) 個別業績

単位：百万円

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	9,300	10	△68	△39円92銭
実績値 (B)	8,170	△250	△500	△294円02銭
増減額 (B-A)	△1,130	△260	△432	
増減率 (%)	△12.0	—	—	
(参考) 前期実績 (2019年11月期)	9,526	△261	△303	△177円92銭

### (3) 通期業績予想数値と実績の差異の理由

売上面につきまして、家具関連事業においては受注済み案件で期末までに納入完了の予定をしていた金融機関や大手企業の大口移転案件のうち複数案件において納入完了とならなかったこと、建築付帯設備機器事業においても医療関連施設の建設工事において当社の想定以上の遅延が発生したことにより、施工・完工の時期が期末日以降となるなどの影響が出ました。また新製品として発売しました『HEPA フィルター付パーティション』のPSEの認証取得に時間を要し、発売時期が遅延したこと、併せてバイポーラ・イオン空気浄化システム『AtmosAir』のスタンドアローン型についてもPSEの認証取得が遅延し、発売が翌年度となったこと等により予想を下回る結果となりました。

また損益面につきましては、売上高の減少に伴う粗利額の減少、建築付帯設備機器事業の建設工事の遅延及び新製品の発売時期の遅延による工場稼働率の低下等が影響し、販売管理費・一般管理費の削減や製造コストの削減を鋭意進めましたが、予想を下回る粗利額となったことと併せて、1.に記載のとおり特別損失が発生したことにより、業績予想数値との差異が発生いたしました。

尚、1.に記載のとおり営業拠点の再配置や、人員の適正化等で翌年度に約150百万円の費用の削減が見込まれ、本日発表の決算短信の翌期予想に織り込んでおります。

以上